

事業報告書

第 2 期

自 令和 04 年 (2022 年) 7 月 01 日
至 令和 05 年 (2023 年) 06 月 30 日

一般社団法人

日本アカデミック・ディテリング研究会

目次

I 事業の報告

1. 事業の概要	1
1) アカデミック・ディテラー養成事業	2
2) アカデミック・ディテリング効果検証事業	3
3) アカデミック・ディテリング広報事業	4
4) アカデミック・ディテリング支援システム構築事業	4
5) 前項事業推進のために付帯する運営基盤事業	4

II 業務の報告

1. 社員に関する事項	5
2. 役員等に関する事項	5

I 事業の報告

1. 事業の概要

当法人は、アカデミック・ディテリングを実践できる人材養成とシステム整備に関する活動（事業）を行うことにより、最新かつ正確なエビデンスのみに基づくように、利用可能な最適な科学と処方慣行とのギャップを埋め、患者さんにとって最適な薬物治療の実現を目的としています。

そして、当法人は、前条の目的を達成するため、次の各号に該当する事業を行います。

- (1) 基礎薬学を臨床に活用したアカデミック・ディテリングの普及に努める。
- (2) アカデミック・ディテリングに関する十分な知識及び技能を有する日本アカデミック・ディテリング認定薬剤師/教育サポーター、および認定指導者を養成する。
- (3) 最適な薬物療法を実現するために必要なデータベースやシステム開発と配信環境を整備する。
- (4) アカデミック・ディテリングの効果や医療経済に関する研究の支援を行う。
- (5) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業を実施する。

今年度は2022年3月で終了した東京理科大学研究推進機構総合研究院アカデミック・ディテリング・データベース部門の活動を引き継ぎ、本研究会の将来構想を基盤とした以下の事業を行いました。特に2期は3期に向けて法人としての本研究会の事業実施体制とガバナンス体制の整備・強化を図る取り組みを行いましたので、ご報告いたします。

- 1) アカデミック・ディテラー養成事業
- 2) アカデミック・ディテリング効果検証事業
- 3) アカデミック・ディテリング広報事業
- 4) アカデミック・ディテリング支援システム構築事業
- 5) 前項事業推進のために付帯する運営基盤事業

1) アカデミック・ディテーター養成事業

第2回アカデミック・ディテーター養成プログラム

D コース

開催日：2022年7月24日

テーマ：臨床論文の批判的吟味（高血圧）

開催形式：Web 開催（研究会契約 Zoom）

企画責任者：佐藤淳也

申込者：54名、会員48名、学生準会員0名、非会員6名

受講者：50名

第1回アップデート講座 D コース

申込者：12名

受講者：11名

C コース

開催日：2022年12月17日

テーマ：医師へのコミュニケーション研修（高血圧）とディテーターリング試験

開催形式：Web 開催（研究会契約 Zoom）

企画責任者：宮崎美子

申込者：37名、会員34名、学生準会員0名、非会員3名

受講者：32名

認定に関する事項

認定対象者：申請要件を満たした会員

認定日：2023年4月10日（代表理事承認）

認定申請者数：35名（認定指導者0名、認定薬剤師32名、認定教育サポーター3名）

認定者数：35名

1) 認定指導者0名（内訳：大学教員0名、病院薬剤師0名（兼教員0名）、保険薬局薬剤師0名、

薬剤師会（医薬品情報）0名）

2) 認定薬剤師32名（内訳：病院薬剤師19名、保険薬局薬剤師12名、医薬品卸0名、一般企業（医薬品情報）0名）大学教員1名

3) 認定教育サポーター3名：病院薬剤師1名、保険薬局薬剤師1名、大学教員1名、製薬企業0名

2) アカデミック・ディテリング効果検証事業

受託事業：

日本がんサポーターズケア学会が日本癌治療学会／ファイザー公募型医学教育プロジェクト助成事業に採択された「がん患者と医療者のコミュニケーションツールを活用した支持療法アカデミック・ディテリング教育プロジェクト」について、2022年9月9日に委託契約が締結され、以下の研修を本研究会で実施いたしました。

テーマ：1期がん患者のNSAIDs アカデミック・ディテリング

参加要件：診療所からがん患者の処方箋を受けており、以下4回の研修に参加可能な薬局薬剤師

2022年10月2日：基礎薬学研修

2022年11月20日：臨床エビデンス研修2

2023年1月22日：地域連携研修

2023年2月19日：コミュニケーション研修

基礎薬学研修（実施部会：基礎薬学部会）

開催日：2022年10月2日

開催形式：Web 開催（研究会契約 Zoom）

企画責任者：清水 忠

申込者：40名、会員2名、非会員38名

受講者：35名

臨床エビデンス研修（実施部会：臨床エビデンス部会）

開催日：2022年11月20日

開催形式：Web 開催（研究会契約 Zoom）

企画責任者：佐藤淳也

申込者：39名、会員2名、非会員37名

受講者：34名

地域連携/処方提案研修（実施部会：資材活用部会）

開催日：2023年1月22日

開催形式：Web 開催（研究会契約 Zoom）

企画責任者：出雲貴文

申込者：35名、会員2名、非会員33名

受講者：29名

コミュニケーション研修（実施部会：コミュニケーション部会）

開催日：2023年2月19日

開催形式：Web 開催（研究会契約 Zoom）

企画責任者：宮崎美子

申込者：35名、会員2名、非会員33名

受講者：32名

3) アカデミック・ディテリング広報事業

（1）活動状況発信事業【主管部会：広報部会】

以下の、情報発信を 本研究会 外部に対して、本研究会 ウェブページを通じて行いました。

- ① 代表理事、副代表理事の対外活動について外部への発信いたしました。
- ② アカデミック・ディテリングに関するイベントの案内をいたしました。

（2）学術大会支援事業【主管：学術大会組織委員会】

第1回学術大会組織委員会を組織し、第1回学術大会を開催いたしました。

参加者127名 内訳 会員98名、学生準会員4名、非会員25名

4) アカデミック・ディテリング支援システム構築事業

アカデミック・ディテリングにおいて必要となる各種の医薬品情報について、活用可能な状態に整理したデータベースが望まれています。既に、本研究会の前身となる東京理科大学研究推進機構総合研究院アカデミック・ディテリング・データベース部門において、骨格となるようなデータベース開発をメディカルデータベース株式会社と行ってきました。しかし、データベースの構築・維持・運用には相当の資金が必要となり、実際に本研究会と同様の理念を持った国内外の団体が構築した類似のデータベースがその運用を断念した事例もいくつかあります。以上を鑑みて、東京理科大学で開発されたデータベースや活用システムの移管はしないといたしました。

5) 前項事業推進のために付帯する運営基盤事業

本研究会の事業実施体制とガバナンス体制の整備・強化を図る取り組みについては、本研究会の年度事業計画書、予算書の作成・理事会承認さらに決算、決算の社員総会承認、決算公告の一連の法人業務を確実に行うプロセスを整えました。そして、これらの法人業務と本研究会の会務を滞りなく遂行するための規則等の改定・制定を行いました。これに合わせて、

本研究会組織体制についても改編を行いました。

組織改編により、事業責任分担を明確化し、理事は何らかの事業の責務を負っていただくことで、事業の継続性を担保し、活発化や円滑化を図り、正会員は部会に所属することで本研究会運営を担っていただくことといたしました。

Ⅱ 業務の概要

1. 会員に関する事項

(2023年6月30日現在) 正会員：66名、一般会員：149名、賛助会員：1名、
学生準会員：5名、名誉会員：3名

名誉会員：東京理科大学薬学部嘱託教授 青山隆夫、熊本大学薬学部客員教授 山本美智子、
東京理科大学薬学部客員教授 後藤恵子

○社員総会の開催

第1回：2022年9月11日（日）に開催

2. 役員等に関する事項

(1) 理事・監事 (2023年6月30日現在)

代表理事：小茂田昌代、副代表理事：宮崎美子

理事：佐藤淳也、伊藤俊将、清水忠、稲葉健二郎、野村浩子、出雲貴文、西川元也、
小林輝信、斎藤顕宜、座間味義人、飯嶋久志、井上雅明、佐々木実

監事：高橋智

以上、理事15名 監事1名

理事/監事所属は別紙参照

(2) 事務局長 (2023年6月30日現在)

事務局長：野村浩子

○理事会の開催

第1回 2022年9月3日（日）

第2回 2022年12月4日（日）

第3回 2023年2月25日（土）

臨時第1回 2023年4月25日（火）

第4回 2023年5月13日（土）

事務局 経理事務、窓口業務（司法書士、会計事務所、外部業務委託先等）